平山郁夫館

聖なるもの - 仏と神 2020.4.4 - 8.30

でいくお マ山郁夫さん (1930-2009) は、日本画という種類の絵を がか せかいじゅう たび 日本画という種類の絵を描いている画家です。世界中を旅してその場所の風景や ひとびと えが 人々を描きました。

^{ルらやま} ネカ おお 平山さんの絵は大きく2つに分けることができるよ!

そびょう **素描**

(全体的に薄い色の作品)

線が描かれている 水彩絵具で色をぬっている

ほんが本画

(全体的に濃い色の作品)

線が描かれていない 岩絵具で色をぬっている

■What's 岩絵具?



色のついた岩石を砂みたいにくだいて、 にかわ(動物のほねや皮を煮こんで つくったのり)とまぜて、色をぬります。 自然にある岩石はキラキラしている ものもあるので、本画はキラキラして 見えることもあるよ。

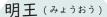
いま ほとけ かみ 今は、仏さまや神さま、おいのりする場所が ぇが さくひん ちゅうしん かざ 描かれた作品が中心に飾られています。 ■仏さまや神さまには種類があるの?......



如来(にょらい)

仏教において一番上の神さま シンプルな服を着ているよ 菩薩 (ぼさつ)

悟りを求めて修行中の神さま キラキラおしゃれな格好をしてるよ



言うことをきかない人のところに やってくる神さま 怒った顔をしているよ



仏さまや神さまの中でも、 描かれた場所によって 顔がなんだかちがうみたい。 インドや東南アジア、中国、 日本、その土地に 暮らす人に似てるのかな?

てんどうえんじゅ ■≪天堂苑樹≫ (1966年)

^{え なに} この絵は何をしているところなのかな?考えてみよう。

作品左の方に立っているのはお釈迦さまで、天上の世界にいる 自分のお母さんに仏教の教えを話しているシーンです。 天堂苑樹には小さなサイズで描かれた小下絵というジャンルの 作品があります。これは、いきなり大きな作品に描くよりも、 絵のバランスなどを確かめるために小さな作品で描いています。